

豊かな自然と歴史 心ふれあう快適な石神

石神地区委員会だより

第 13 号

平成 22 年 3 月 25 日

企画・総務部会



石神「地区自治会」設立総会開催される

石神地区自治会長 黒澤 達

去る、1月24日（日）石神コミセンにおいて、地区自治会設立総会が開催され、①規約②組織③役員を選任④事業・予算等を審議、各議案共、原案どおり可決承認されました。総会出席者は、地区委員会の役員・運営委員・単位自治会代表者及び事務局の総勢63名で構成されております。

これに伴い、4月1日付けをもって、新たに石神地区自治会としての組織がスタート致します。皆様と共に、安全で安心して暮らせる「心ふれあう快適な石神」を目指し活動を展開してまいります。ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

尚、総会后、村上村長による「東海村のまちづくり」と題し、講話が行われ盛会裡に終了することが出来ました。

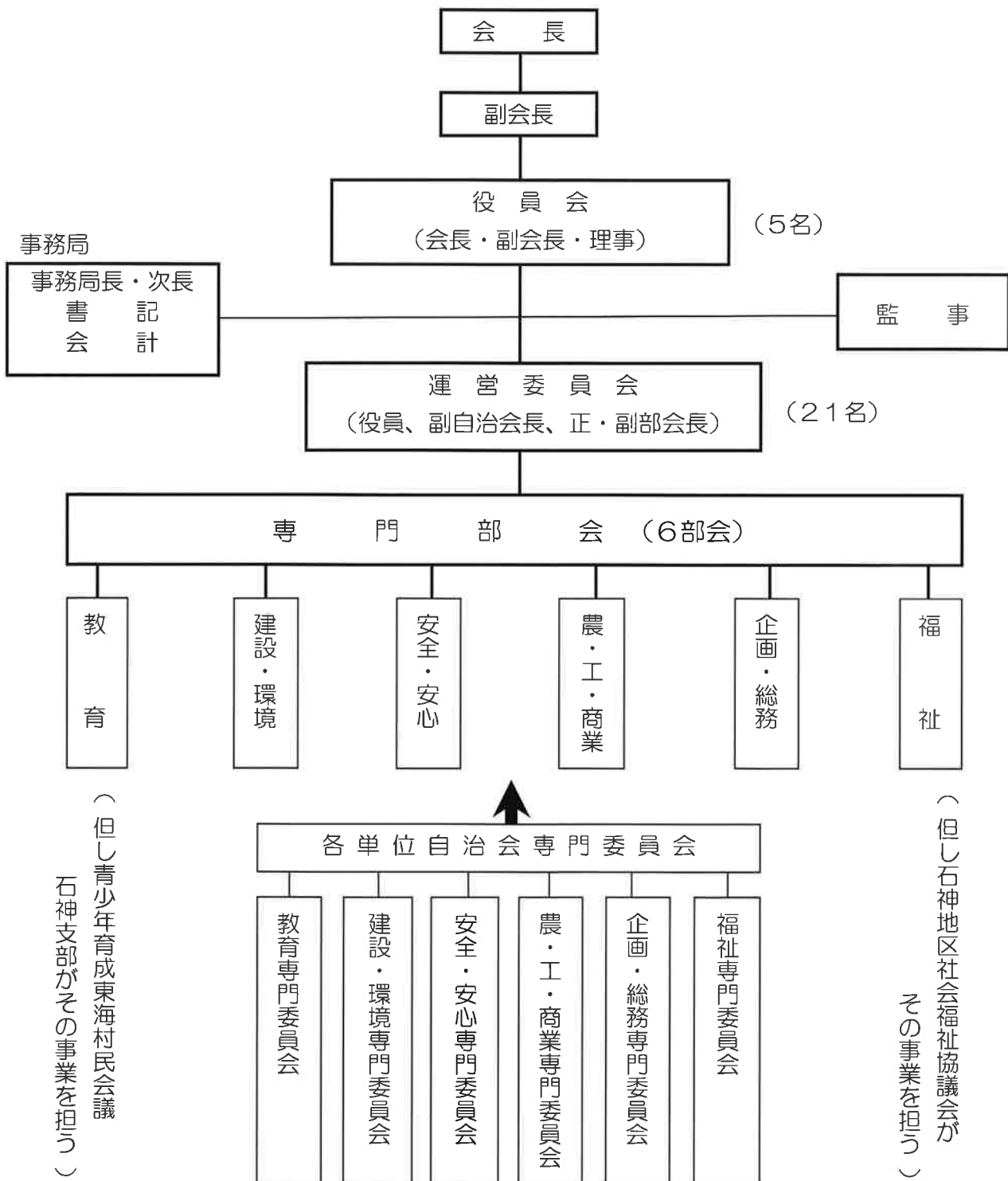


石神地区自治会の役員と組織

地区自治会役員

会 長 黒澤 達 (外宿一区)
 副 会 長 廣原通治 (外宿二区)
 理 事 岡部正人 (内宿一区) 砂押 博 (内宿二区) 仲田 進 (竹瓦区)

石神地区自治会組織図



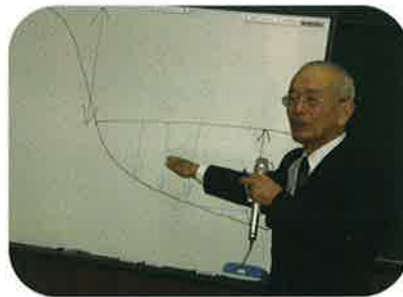
安全・安心部会

12月6日（日）通学路の安全確認を重点的に巡視活動を行いました。



建設・環境部会

2月7日（日）「石神城の昔と今」について、廣瀬 誠先生の【生きものの目からながめて】と題し、環境を考える講演会が開催されました。大変有意義なお話でした。



農・工・商業部会

2月17日（水）冬瓜・おから・ほうれん草・古代米を用いた、ヘルシーでおいしい料理教室が開催されました。美味しくいただきました。

- 【献立】
- ・冬瓜（とうがん）のスープ
 - ・おからのサラダ
 - ・ほうれん草のおひたし
 - ・古代米入りご飯



◆青少年東海村民会議石神支部◆

【今年度、支部事業を振り返って】

支部長 岡部 正人

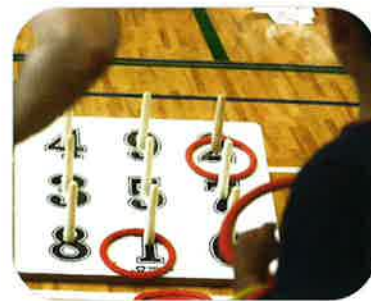
平成21年度、支部事業を思い返して見ると、各事業の中でも昨年より大変人気のある星空観察会が、感染力が強い新型インフルエンザの流行のため中止になり大変残念に思われます。しかしながら、【三世代交流会・親子釣り大会】等、年間行事の開催が出来た事は多くの役員さんの協力による賜物だと確信し、多くの成果が得られたと思います。理事・委員の皆様にご心からお礼申し上げます。

子供たちは、いろいろな体験・学習をしながら成長するといわれています。県では子供たちを地域で育てる【地域親になろう】という運動を推進しています。子供たちが豊かに育っていくためには、家族以外の大人との関わりがとても大切です。これからも地域ぐるみで子供たちを温かく見守っていきたいと思います。

◆平成22年度 年間事業計画◆

※ 場合により事業内容変更有り

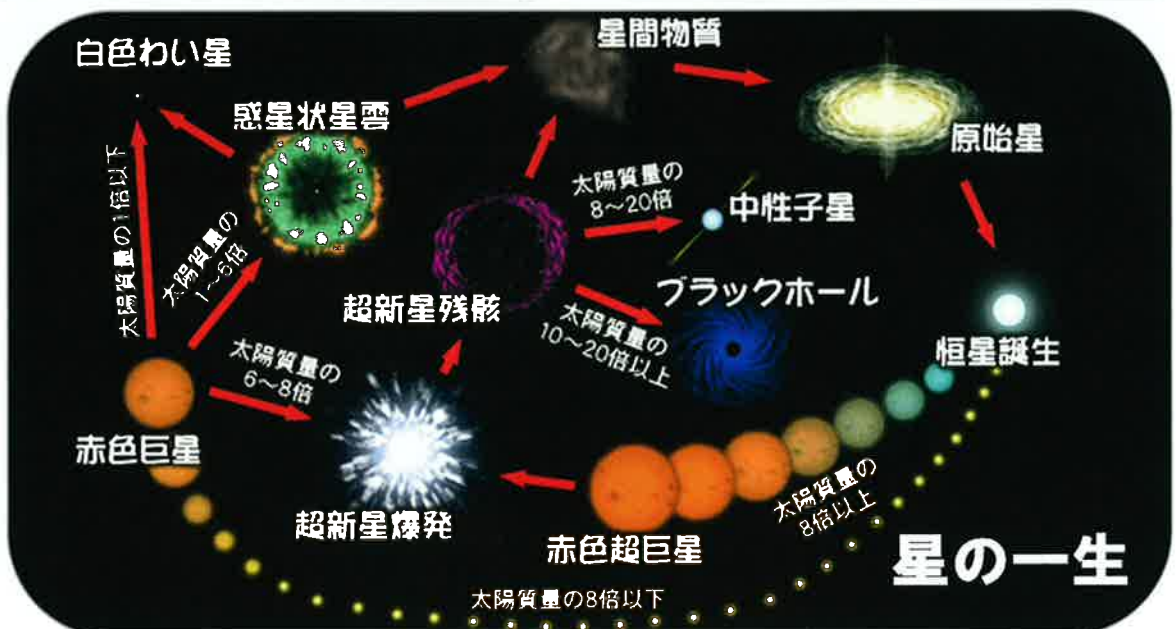
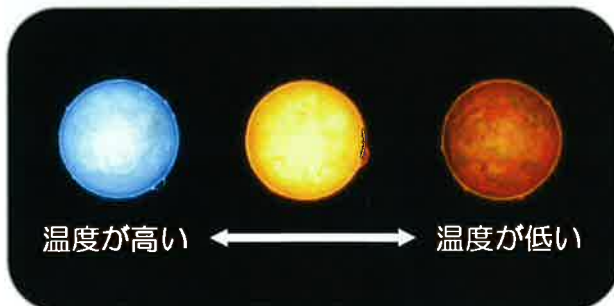
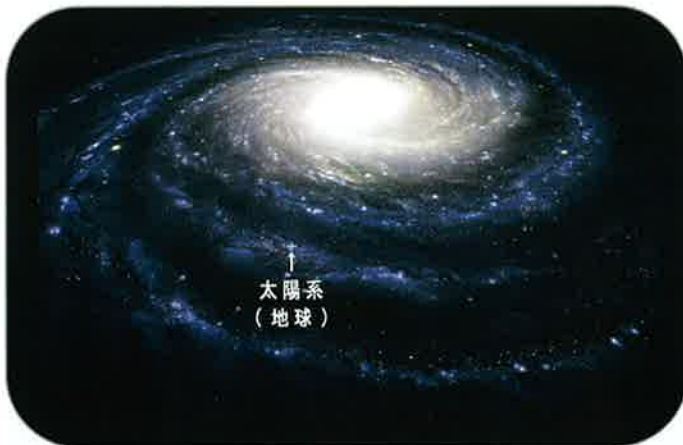
| 実施日 | 担当委員会 | 事業名 |
|-----------------------|----------|-------------------|
| H.22. 4 H.22. 4 | 合同 | 会計監査 理事会 |
| H.22. 5 | 合同 | 支部定期総会・役員会 |
| H.22. 6 H.22. 6 | 合同 | 役員会 環境活動（花壇整備） |
| H.22. 7 | 各委員会 | 親子体験学習 |
| H.22. 8 H.22. 8.29 | 合同 合同 | 役員会・理事会 三世代交流会 |
| H.22. 9 H.22. 9 | 合同 | 役員会 環境活動（花壇整備） |
| H.22.10 | 各委員会 | 親子体験学習 |
| H.22.11 | | 役員会 |
| H.22.12 | 合同 | 環境活動（花壇整備） |
| H.23. 2 | 各委員会 | 親子体験学習 |
| H.23. 3 | | 役員会 |



◆ 星空観察会 ◆

今回、昨年 11 月に計画しました【星空観察会】が新型インフルエンザの流行により中止となりました。企画は、星空観察だけではなく、仏教の持つ宇宙時間の観念から、願船寺住職より【宇宙を考えながら命のつながり・祖先を考える】講話を聞きながら、校庭で寝転んで天体望遠鏡をのぞきながら星空観察を行う予定でした。

生きていれば一回は宇宙の生い立ちを考えるのではないのでしょうか。



石神地区社会福祉協議会

「地域福祉を考える会」開催

平成 22 年 1 月 26 日（火）茨城キリスト教大学の稲垣教授をコメンテーターに迎えて、石神コミセンで開催されました。「見守り活動を考える」をメインテーマに①活動してきてよかったこと、反省すること②今後の活動に望まれることを単位自治会ごとに分かれて意見交換し、その発表が行われました。

主な意見として、お年寄りの笑顔が増えた。大げさなことでなく、回覧板の手渡しや声かけ、雨戸の開閉確認等のさりげない見守りを続けていきたい。今後は小地域（班、単位自治会）での協力員の研修の実施。活動の PR 不足とその改善法などの意見が出されました。

約 80 名のふれ合い協力員で会場はいっぱいになり、熱気あふれる雰囲気の中で討論され、今後の活動のために大変意味ある会でした。



ふれあい協力員リフレッシュ事業

平成 22 年 1 月 28 日（木）群馬県の富広美術館と佐野厄除け大師へ行ってきました。80名の参加があり有意義な時間を過ごすことができました。



先進地視察研修

去る、2月17日(水)石神地区社協主催による先進地視察研修会に参加しました。

視察団一行は、村社協のバスに乗り、朝9時に石神コミセンを後にしました。北茨城市社会福祉協議会には、10時頃に到着し早速研修会に臨みました。北茨城市の関本支部長が、親しみある話し方で、次のように説明してくださいました。「ご近所声かけ隊」を構成して、主に高齢者と小学生の下校時の見守り活動や、小学生やその父兄との交流会等を行っています。なお、ご近所声かけ隊は、現役を引退した方が多いのですが、小学生の父兄にも会員登録をお願いしています。また、小学生が地域の高齢者と顔見知りになっているので、高齢者の見守り活動にも、協力してくれているそうです。心温まる嬉しいお話を聞くことができ、大変参考になりました。



ふれあい協力員研修会

～認知症サポーター養成講座～

平成22年2月23日(火)石神コミセンにてふれあい協力員研修会が90名参加のもと、開催されました。なごみの地域包括支援センターの協力による認知症サポーター養成講座を行いました。映像と実演を交えて認知症を正しく理解し、認知症の予防や、認知症の人と接する時の心構えなど学ぶことができました。講座終了後、会食をかねた懇談会では、これまでの活動を振り返っての成果や反省など、意見交換が行われ大変有意義な研修会でした。



「地域福祉フォーラム」開催

平成22年2月20日(土)講師に東京ボランティア・市民活動センター所長 山崎美貴子先生を迎えて「地域から発信する新たな福祉のまちづくり～支えあう・学びあう・つながりあうまちづくりを目指す～」と、題して講演会が行われました。地区社協からも多数の方が参加しました。これからの地域福祉活動に参考になる講演会でした。



私達、里山の会は区内の放置されている個人所有の雑木、杉林等を環境美化、防犯、ミニ公園化を目的に、昨年4月より有志で始まり、現在8人で道具と弁当と怪我は自分持ちで活動しています。集会所脇の山は昨年完了し、ウォーキングの休憩の場、ラジオ体操、バーベキュー等に利用され、又、近辺住民からも住環境が良くなったと喜ばれております。年初めより、同近区の別の山を作業中で、地域住民の協力と茶菓子の差し入れ等を得、作業を楽しく、会話を楽しく、そして喜ばれながらマイペースで体力の続く限り全員取り組んでおります。



是非、散歩での休憩、森林浴等に利用してください。



◆ インフォメーション ◆

- 第22回『東海さくらまつり』は 4月1日(木)から18日(日)まで阿漕ヶ浦公園で開催されます。
- 石神地区自治会運営委員会が4月3日(土)に開催されます。
- 石神地区社会福祉協議会平成22年度定期総会は4月17日(土)に開催されます。
- 石神コミセンのトイレ改修工事及び屋上防水工事・外壁洗浄工事が終了致しました。長い間ご迷惑をお掛け致しました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。ご来館をお待ち致しております。

ハイチ地震の大きさに脅威を覚えたのも束の間、すぐ、バンクーバーでの冬季オリンピック競技で消えてしまいました。国の威信にかけて、メダル獲得しないと参加した意味が無いように思われる選手達。そして、オリンピック終盤、またしても南米チリで大地震が起きました。天災・人災、ありとあらゆる事象が加速して起きる今日この頃です。その中であって、里山の会を発足した八人の皆さんの心意気には、とても感動します。

編集後記

次回
石神地区自治会だより
第14号
平成22年6月25日
発行予定

前回12号の、ふれあい敬老会写真説明で、澤山さんを、黒澤さんとご案内致しました。訂正し深くお詫び申し上げます。